

奨励賞

北海道札幌工業高等学校

食と町が繋がる未来

地域産業の活性化、自然と繋がる空間のコンセプトを評価した。住宅の和室は多様な使い方が想像できる所は良いが、店舗の和室は周囲に縁側を回すと土間・和室・テラス席への利便性と建築の魅力が増すと思われる。

(北海道士会まちづくり委員長 松本)



青森県立青森工業高等学校

千変百様 ～地域に寄り添い変化する畳～

まるで棚田のように、畳の広場が上下左右と階段状に広がっていくオープンスペースというアイデアが、とても挑戦的だと感じました。

(青森士会青年委員長 甲田)



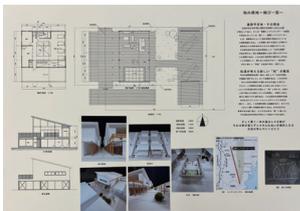
岩手県立盛岡工業高等学校

和み路地 ～結び一筋～

岩手県に国際リニアコライダーが誘致され新たな国際的な研究都市が生まれる事に着目し、外国人にも住みよい和室をテーマにした事が評価できる。

内部の閉鎖的な軸線(通路)と外部に開かれた空間の両立を試みた意欲作である。

(岩手士会会長 角田)



宮城県白石工業高等学校

mariage 暖 maison

インバウンドとSNSを意識した発想がとても良い。ハートの池や窓など面白いと思ったので、ハートの池を写せる場所やハート型の植栽など、とことんこだわってみたらもっと楽しい作品になると思う。

(宮城士会広報・交流委員会委員長 奥秋)

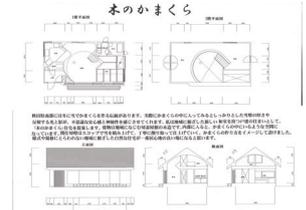


秋田県立大曲工業高等学校

木のかまくら

《かまくら》の曲面イメージを直線建築に取り入れた独創性を評価する。木との連携や配置の主旨、雪壁を表わす仕上げ材料など、計画の深掘りがあればよかった。色彩表現でさらに作品の見栄えが向上すると思われる。

(秋田士会事業委員会教育支援部会 戸館)

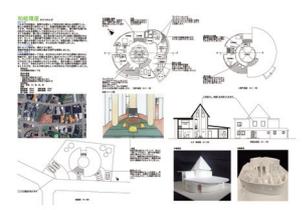


山形県立鶴岡工業高等学校

和結環座 わけつかんざ

円形の和室を家の真ん中に置きリビングそのものとするにより家族が和室を中心に自然と集まる様子を表現している発想は面白いが、単なる畳の空間ではなく、和室のあり方や和の空間の表現にさらなる工夫が必要である。

(山形士会会長 伊藤)



福島県立福島工業高等学校

The apple doesn't fall far from the tree.

被災地・福島での暮らしの再生を描き、仮設住宅の再利用も考えている点を評価したい。タタミユニットの発想は面白いが、「新しい和室」としてどう地域に根ざしていけるのか、具体的に表現できると良かった。

(福島士会副会長 菅野)



群馬県立前橋工業高等学校

tanbo800

前橋市南部の水田地帯を想定地とした、地域に根ざした住宅景観を醸し出そうとした作品であったが、水田の中に唐突に現れた感が否めない。近隣景観に溶け込むデザイン性が欲しかった。

(群馬士会会長 高橋)



埼玉県立春日部工業高等学校

家族と過ごす海の近い別荘

人口減少が進む現在、あえて大家族と多くの親戚も集まれる別荘を実現することを目的とした着眼点は良かった。中庭を中心に各室が繋がっており、回廊が縁側の様な場所として利用でき、リビングも勾配天井とし開放感あふれる場としたことが良い。

(埼玉士会事業委員会 中村)



東京都立総合工科高等学校

Breeze House

玉川上水に面した環境を活かし、庭・街・地域との関係を多層的に計画した住宅提案である。コの字型プランにより自然光や風を内部に取り込み、家族の暮らしと地域との交流を育む空間構成が高く評価できる。

(東京士会理事 内海)

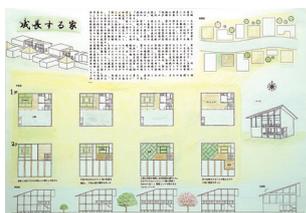
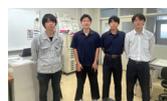


東京都立総合工科高等学校

成長する家

「新しい和室」「成長する家」「地域に根差した暮らし」という3つの視点を軸に、多様な暮らしへ対応する住まいを提案し、拡張性ある構造や地域材の活用、地域コミュニティ形成への可能性が評価された計画である。

(東京士会副会長 川崎)



神奈川県立向の岡工業高等学校

ChanoMa暮らし 一茶室のある家



敷地の一角に離れとして計画された茶室は、開放的で庭と一体化した空間として家族と共に景色を楽しむことのできるプライベートな空間で、和室の独自性と特別感を作り出しています。

(神奈川県学生会長 上原)



神奈川県立小田原城北工業高等学校

3つのわ ～人と人との繋ぐ住宅～



日本古来の軒下や縁側といった中間空間を活かした半屋外の和室は、利便性と開放性を兼ね備えた地域の交流の場を生み出しています。

(神奈川県学生会長 上原)



山梨県立富士北稜高等学校

人の絶えぬ島 ～自然と共存し続けるグランピング～



世界文化遺産登録(信仰の対象と芸術の源泉)の富士北麓の地域性から、江戸時代の宿泊・信仰施設である「御師の家」文化が現代のグランピング施設として蘇ったような感覚を与えてくれる。

(山梨学生会長 長田)



新潟県立新潟工業高等学校

変化に柔軟な「和室」～イタノマのある家～



話題の民泊を提案。和を残したリノベーションを実際に行い、和洋折衷型の空間になっているのは良かった。更に2階の空間や外観などにもリノベーションを行い、新潟・沼垂らしい工夫をした提案・表現してほしい。

(新潟学生会技術教育委員会委員長 板垣)



静岡県立島田工業高等学校

畳で結う地域の「和」



焼津という地域の特性や結びをコンセプトに畳を活用したアイデアが良い。住まい手の家族構成や1Fとの繋がり、移動可能な畳の使い方の表現、全体的なデザイン少し工夫があるとより良くなると感じます。

(静岡学生会青年企画委員会委員長 小野田)



静岡県立浜松工業高等学校

茶結の間 ～お茶で結ぶ まちのにぎわい～



地元のひとと職員や観光客に焦点が当てられており、住まい手の情報が少ない。リバーシブル床・茶畳を活用して住まい手とその他の人たちとの繋がりが提案されればより良くなると感じます。

(静岡学生会青年企画委員会委員長 小野田)



静岡県立浜松大平台高等学校

円で縁を結ぶ家



浜松水辺を愛する会の委員である住人が「ヨシ」とヨシのボランティア活動者と触れ合える住まいである。住まい手の生活やボランティアの人たちとの交流が和室を中心にまとめられていて良い。

(静岡学生会青年企画委員会委員長 小野田)



岐阜県立岐南工業高等学校

ソラまち計画 ～空でつながるまちの新たなアクティビティ～



衰退する市街地で空に可能性を求めた屋上和室は可能性を感じます。ただ屋上交流が将来のパッケージ頼みでなく、例えば2階も店舗を設け住まいは小さくし上層にも人を呼び込み、屋上を活用するという案もあるかと思えます。

(岐阜学生会事業研修委員長 河尻)

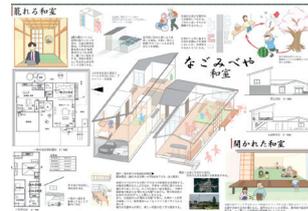


福井工業高等専門学校

なごみべや 和室

課題を実現するため、住居と地域開放空間のそれぞれの和室の使い方によって開放性や閉鎖性に留意し、近辺でよく見られる住宅の延長線上にある計画とすることで、地域住民に受け入れやすい提案となっている。

(福井士会審査委員長 高嶋)



滋賀県立彦根工業高等学校

美和心楽 ~美しい和室を地域の人と琵琶湖と共に楽しむ~

課題点はあるものの、多彩なアイデアが盛り込まれ、「建築する楽しさ」がフレッシュに感じられる作品である。建築を志す生徒としての好奇心・意欲が伝わってくる作品であり、これからの可能性に期待します。

(滋賀県立大学環境建築デザイン学科准教授 轟)



舞鶴工業高等専門学校

オンカカカビサンマ エイソワカ 地蔵盆が育んだ家

京都の地蔵盆の風習を取り込み、地域と家族のつながりを表現した点や、土間による緩やかな空間連結と「溜まり」の創出が秀逸で、和の暮らしを豊かに示す提案として高く評価できる。

(京都士会渉外交流委員長 野村)

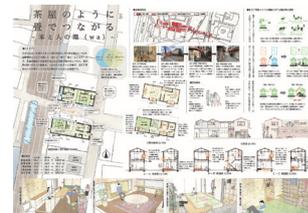


大阪府立今宮工科高等学校

茶屋のように畳でつながる ~本と人の環(wa)~

大阪・天下茶屋の2棟の古家とその間の道を一体化し、「街の畳」を中心に私設図書館やコミュニティーサロンを営む家族の住まいとする計画。地域の歴史に学びつつ、地域の魅力を創出する意欲的な案として評価する。

(大阪士会建築表彰部門主査 岸下)



明石工業高等専門学校

つり畳のくつ家

阪神・淡路大震災から30年が経ち、被災地域の現状と課題に向き合った作品。地域の課題である人口減少、高齢化、空き家増加、緑地の減少を和室によってフレキシブルに地域と繋いでいくアイデアや表現は評価できる。

(兵庫士会副会長 西嶋)



明石工業高等専門学校

緑を紡ぐ ~ものどもの、人と人、人どものをツナグー

海との繋がりが深い坂越の生活を考えに入れた提案である。「緑を繋ぐ」というテーマに沿って和室をブロックとして考えた所が面白く遊べる空間である。ただ、2階がメインの住まいに和室がないのが少し寂しい。

(兵庫士会副会長 西嶋)



明石工業高等専門学校

回る里、適う家

高齢化・空き家・環境等の課題を解決するための計画である。地域との協働を促す仕組みが提案され、日本古来の間取りを思わせる土間と和室を中心にした多世代にとって優しい動線が確保されている点が評価できる。

(兵庫士会副会長 西嶋)

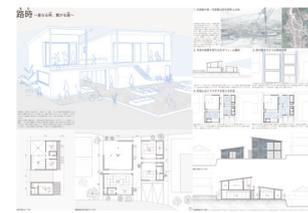


明石工業高等専門学校

路時(ろじ) ~重なる時(とき)、繋がる路(みち)~

地域の産業と歴史的町並みを路地で繋ぐ場所として新しい和室を持つ住まいが表現できている。可動式の畳を設けることで、和室が路地を通じて地域と暮らしを結ぶことにより活性化する姿が浮かぶ素晴らしい提案である。

(兵庫士会副会長 西嶋)



奈良県立奈良商工高等学校

大和茶屋「人ノ和」～鹿と茶が結ぶ、奈良の文化～

観光地奈良の象徴である「鹿」と伝統工芸品の「高山茶筍」に着目し、移住の契機にしたいという提案である。建物の意匠が立地場所に調和しているのか、また折角の畳の空間をより観光客に向けてアピールするような工夫が欲しい。
(奈良士会会長 中尾)



広島県立福山工業高等学校

空間でつなぐ

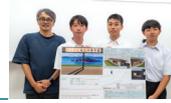
自然、歴史、現代都市が交差する地形を活かして建築によってそれらをつなぐ空間を創出し、独立した和室の使い方によっては将来的にも交流拠点として様々な可能性が考えられ、新たなコミュニティの醸成も期待できる。
(広島士会専務理事 加藤)



徳山工業高等専門学校

だんだん大島の寺子屋

「瀬戸内海とともに学ぶ寺子屋を持つ家」をテーマに、瀬戸内海が一望できる段々畑に、景色を眺めながらの地域住民の経験の交換の場として和室を配置した、立地と横長の敷地特性を活かした住宅の提案です。
(山口士会審査委員長 住田)



徳山工業高等専門学校

灯屋（AKARIYA）—繋がるの拠点—

漁師資格取得のために来られたベトナムの方と地元の方との憩いの場としての土間の提案です。地域の課題を明確にとらえらるとともに、和室=畳の提案が多い中、ベトナム文化との共通点からの土間の提案が秀逸です。
(山口士会審査委員長 住田)



徳島県立徳島科学技術高等学校

休む、つながる、広げる和 ～巡礼路に建つまちの休憩所～

スケール感の甘さはあるものの、建築的な面白みやまとまりがある。和室の解釈もあり、課題に対する回答がされている。ただし、お遍路さんや地域との交流に寄りすぎており、「住まい」の計画やパブリックとの分け方は熟考する必要があるだろう。
(徳島士会青年委員会 赤尾)



阿南工業高等専門学校

繋がる広がる和空間

テーマに対して、地場の「竹」という「素材」にフォーカスした点を評価したい。一方で、考えがまとめ切れていないことや、計画が広がり切っていないところが惜しい。図面表現も乏しく分かりづらいため、今後力を注げるようになるだろう。
(徳島士会青年委員会 赤尾)



香川県立多度津高等学校

音に惹かれあう暮らし ～和の共鳴～

和太鼓奏者の工房と住宅の計画である。1・2階の吹き抜けの演奏場（店舗）からの仕掛けで迫力ある空間を住宅に持ち込むという作者の発想に独自性は認めるが、課題の「新しい和室」に対する考察を深めてほしい。
(香川士会専務理事 平尾)



愛媛県立松山工業高等学校

間 一けん

夕日を望む海岸地に店舗併用住宅の建築を2間（3.6m）ずらした構成に新しい和室の提案要素は乏しい。店舗の自由線バルコニーと住宅との整合性と共に、海岸周辺と調和させるべき表現も不十分であった。
(愛媛士会建築甲子園委員会副委員長 大野)



高知工業高等専門学校

道と和室

建物中央のパスージュに沿って設けられた和室空間は、地域住民と学生を繋ぐ交流の場となっていて良い提案だが、間取り計画については、細部までもっと思考し表現して欲しいと思う。

(高知士会副会長 土井)



佐賀県立佐賀工業高等学校

海と窯

畳・土間・焼き物など自然素材を身近に感じる温かみのある空間であり、広間を階段状にした空間づくりは和室として斬新である。今後は立地周辺の景観との融合、そして構造計画にも十分配慮することを期待致します。

(佐賀士会会長 小島)



長崎県立大村工業高等学校

つなぐ和室

晴れの日限定で半外空間に移動式畳を持ち込む点に「新しい和室」の思い切った試みを感じるが「和室=畳のイメージ」という考え方に終始している点が悔やまれる。海の景観を借景として取り込むような時々和室の工夫も欲しかった。

(長崎士会専務理事 高橋)



大分県立大分工業高等学校

粋な和の空間、広がる畳と縁側の住まい ~縁側から広がる地域との新しい関係~

二つの家族が向き合い部屋が移動でき様々な表情に変化し、各部屋や人との関係性も変化。江戸しぐさの相手への配慮を示す「肩引き・空間」をイメージ。画面一杯に展開する力強い描写と明確な表現力は皆を魅了する。

(大分士会専務理事 松崎)



宮崎県立宮崎工業高等学校

新しい和室が生む新しい出会い

地元の駄菓子屋を新しい感覚の和室のある地域の交流の場にしようという試みですが、新しい出会いのあり方がもう少し具体的に提案され、それに伴う新しい駄菓子屋らしい和室の形が表現されると説得力が増しますね。

(宮崎士会審査委員長 松竹)



都城工業高等専門学校

地域と暮らす家

木と竹を和の代表要素と捉え、ユニークな和の空間を地域との曖昧な領域にしようとした住まいですが、そこで起こる事象をもう少し具体的に表現できると意図が伝わりそうです。敷地内にも竹林が広がると良かったかな…。

(宮崎士会審査委員長 松竹)



鹿児島工業高等専門学校

茶縁

日置市の茶畑のただなかに茶室のある住宅を分散して配置した、鹿児島の原風景に良く馴染んだ提案である。同心円状に配置した緑茶室では茶畑にもぐるような体験ができ、地域の集いの場にもなる。

(鹿児島士会審査委員長 木方)



鹿児島工業高等専門学校

だいやめどき 一工務店が作る縁側一

坂を上った先は北西の風景が見通せ、春から夏にかけては美しい夕空が望め、その通路に面して広々とした縁側がある住宅を提案。複雑な形状の敷地の良さを「残余」の空間で引き立てた配置計画が秀逸な作品である。

(鹿児島士会審査委員長 木方)

